

令和8年3月31日

スタッフ各位

株式会社 徳
ノリックス有限・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただき、ありがとうございます。

すっかり春めいてきました。3月は京セラドームでのWBCの試合、大相撲春場所などの弁当受注があり、忙しい日が続きました。支店も忙しく、百貨店の店舗も新商品の人気が高まり、多くのお客様にご購入いただきました。

さて、私も還暦を過ぎ、自分の人生を見つめ直すことが多くなっています。自分の死んだ親や祖父母のこと、子供の頃にお世話になった方々、仕事をするようになって助けていただいた友人などのことをよく思い起こします。私は小学生の頃あまり勉強する習慣はありませんでした。

当時、飲食業をしていた両親は共働きで子供の世話どころではありませんでした。当時、生活も裕福ではありませんでしたが母が私に家庭教師をつけてくれました。当時、教育大学に通う女子大生の先生でした。一生懸命教えていただき成績も上がり勉強が好きになりました。

そこから約50年後にその先生が自身の退職(平野区の小学校の校長先生を定年まで勤めました)の会で徳本店を利用してくれました。50年ぶりに会う年齢を重ねられた先生は当時の面影そのままに子供の頃の記憶が一気に蘇りました。

私どもの店の料理メニューの新聞折り込みを見るたびに「和ちゃん(当時そう呼ばれていました)が立派になって嬉しい」と思っていましたと言ってくれました。「ずっと会いたかった」とも言ってくれました。私は「今の私があるのは先生のおかげです」「本当に感謝しています」と伝えました。料理も美味しいと言って喜んでいただけました。

人は一人で生きてきたのではなく、多くの人に支えられて今があります。家族、先生、友人、仲間、そしてお客様やお取引先とのご縁の中で、今の自分があります。だからこそ、そのご恩に報いる生き方をしなければならぬと思います。その一番の方法は、日々の仕事を大切に、お客様に喜んでいただける仕事を続けることだと思います。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々